

ギソン 2 石炭火力発電所事業

2018/11/7 現在
FoE Japan

事業の概要

ベトナム北部タインホア省ギソン地区で、発電容量 1,200MW（600MW×2 基）の超臨界圧の石炭火力発電所を建設・所有・操業し、ベトナム国営電力公社（Vietnam Electricity：EVN）に対して 25 年間売電する計画。

建設地：ベトナム・タインホア省
 発電総容量：1,200MW（600MW×2 基）、超臨界圧
 事業費：
 事業実施者：Nghi Son 2 Power Limited Liability Company（丸紅・韓国電力公社が出資）
 EPC 契約：斗山重工業（韓国）
 稼働開始：2018 年
 運転開始予定：2022 年



	ギソン 1 ¹	ギソン 2
発電容量	300 MW *2	600 MW * 2
発電方法	亜臨界	超臨界圧(SC)
燃料	石炭	石炭
事業実施者	ベトナム電力公社(EVN)	Nghi Son 2 Power Limited Liability Company（丸紅、韓国電力公社）
運営	ベトナム電力公社(EVN)	Nghi Son 2 Power Limited Liability Company（丸紅、韓国電力公社）
スケジュール	2013, 2014 にそれぞれ 1 号機・2 号機が商業運転開始	2018 年に建設開始
所在地	タインホア省ティンザー県	
総事業費	119,352 百万円（うち、円借款対象額：99,687 百万円）	27 億 9 千万ドル（協調融資分 18 億 6900 万米ドル）

日本の関わり

出資：丸紅、韓国電力公社（50:50）

公的金融機関：国際協力銀行、NEXI が付保検討中

民間金融機関：三井住友銀行、三菱UFJ銀行、みずほ銀行、新生銀行

注：韓国輸出入銀行（KEXIM）、OCBC銀行（シンガポール）、DBS銀行（シンガポール）及び Malayan Banking Berhad（マレーシア）が協調融資²

¹ 国際協力機構 事前事業評価表 https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2010_VN10-P6_1_s.pdf

² 国際協力銀行プレスリリース「ベトナム社会主義共和国ギソン 2（Nghi Son 2）石炭火力発電事業に

主な経緯

2005	ギソン経済区設立
2010	ギソン1石炭火力発電所1号機(300MW*2、出資EVN、建設丸紅、JICA円借款3)建設開始
2013.6	ギソン1石炭火力発電所ユニット1稼働開始
2013	丸紅と韓国電力社が国際入札でギソン2石炭火力案件落札
2014.6	ギソン1石炭火力発電所ユニット2稼働開始
2015	斗山重工業建設受注
2015.6	ベトナム当局が同プロジェクトの投資ライセンス(Investment license)承認
2016.11	丸紅、同プロジェクトのBOT方式にて商工省と合意 ⁴
2017.11	丸紅と韓国電力社、ベトナム政府とコンセッション契約締結
2018.2.6	JBIC融資検討開始
2018.4.13	JBIC融資決定発表
2018.5.31	NEXI付保検討開始 ⁵
2018.3	MHPSがボイラー受注 ⁶

主な問題点

社会影響(生計手段への影響)

事業予定地のハイファコミュニティでは住民が先祖代々利用してきた小型漁船の停泊地があり、現在も数百隻が利用しているが、住民に適切な説明が行われず、撤去が始まった。人民委員会は、2018年5月9日付で、ギソン2発電所のために緊急撤去通知を发出しており、漁船を異なる停泊地へ移動するよう、また、従わない場合は強制的に移動させると説明。住民らは、停泊地に留まり、漁船が撤去されないよう監視も行っていった。この間、漁民は停泊地からの撤去を恐れ、漁に出ることができておらず、生計手段への影響が生じている。

環境影響評価の不備

ベトナム当局によって承認されている環境影響評価は、同経済区内に建設されたニソン製油所の環境影響を考慮したものになっていない。そもそも本事業計画のEIAは、2015年に作成され、2018年時点でも本格的に建設が開始していない。製油所の稼働開始など現地の環境に大きな変化がある以上、EIAそのものがやり直されるべきである。

大気汚染

ベトナムでは大気汚染の問題が深刻になっており、石炭火力発電所からの排出も一因とされている。石炭火力発電所由来の大気汚染が早期死亡率につながっていることも報告されており、ベトナムを含む東南アジア地域で現在計画あるいは建設中の石炭火力発電所がすべて稼働した場合のシミュレーションによると、ベトナムは2030年までにASEAN諸国の中で汚染のひどい国の上位に位置づけられ、大気汚染による早期死亡者の数は年間2万人にのぼると推定されている。

地元からは既存のギソン1石炭火力発電所操業以来、近隣コミュニティにおける疾病の増加も報告されており、新たな石炭火力発電所の建設により、状況悪化が懸念される。

対するプロジェクトファイナンス及びポリティカル・リスク保証(2018年4月13日)

<https://www.jbic.go.jp/ja/information/press/press-2018/0413-010921.html>

³ https://www2.jica.go.jp/ja/evaluation/pdf/2006_VNXIV-1_1_s.pdf

⁴ <http://nangluongvietnam.vn/news/en/electricity/signing-the-agreement-for-investment-in-nghi-son-2-bot-thermal-power-project.html>

⁵ 日本貿易保険プロジェクト情報 18-003

<https://www.nexi.go.jp/environment/info/a/2018053001.html>

⁶ <http://www.mhps.com/jp/news/20180809.html>